



# 学校だより「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～

平成29年6月12日発行 No.11

文責 塩川小学校長 佐藤 寅記



## 今年度の学力向上策 ～対話的な問題解決～

子ども達の学力向上は、学校の最も重要な使命です。今年は、次の3本柱でその具現を図ります。

- ① 「塩川小授業スタンダード」による授業の充実(対話的な学びの充実)を図ります。特に、これまでに学んだ知識や技能、経験を基に、友達との話し合い(比較や検討、練り上げ)を通して課題を解決する場や、学ぶ喜びや実感を高めるための充実を図ります。
- ② 「学習サポーター」等を活用し、積み残しゼロを目指します。
- ③ 定着度の低い単元(例えば6年生は、「分数の割り算」)に、TT指導や習熟度別学習を取り入れ、個に応じた授業を充実させます。



話し合っ(比較・検討)解決する

## 授業力の向上 ～先生方は、研修を通して授業力を高めています～

12日(月)に、ソーシャルスキルトレーニングの理論と実践について学ぶ校内研修会を、都留文科大学特任教授の品田笑子先生を講師に開催しました。

今年の学力向上の目玉は、対話的な学習を通じた問題解決活動を通して、活用力を育み高めることです。その核となる対話的な学習を成立させるため、先生方は、「聞く」と「話す」に焦点を当てた講義・演習を受けました。

子どもが、話し合いの必要性を感じ、意欲的に取り組むためには「話し合いをすると問題が解決する」「話し合いが楽しい」という意識を持たせることが大切です。先生方は、子どもになりきって研修を受け、話し合いの意義や方法など、たくさんの学びをしました。



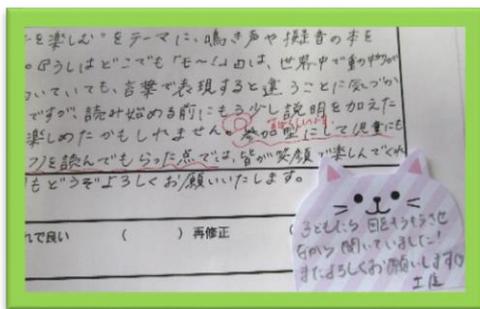
対話的な学習充実のヒントを探す

## ちょっといい話 ～教師編～

左の写真は、学校司書日誌の一部です。

かわいい猫ちゃんの付箋に注目ください。これは、学級で読み聞かせをしてくれた矢部司書に、担任が感謝の気持ちを付箋で示したものです。また、今朝は、先生が玄関掃除のボランティアをしていました。率先垂範する姿に感心します。

子ども達のいい話に戻りますが、5年生は、修学旅行で6年生がいない2日間、自発的に朝のボランティアを行いました。高学年としての自覚がすばらしいです。



## 地域のお力をいただいています～授業の充実～



左は、リコーダーの吹き方や魅力を教えてくださった井川先生です。右は、クラブの時間に茶道を教えてくださっている鈴木先生です。

サポーターの富子先生や農業科支援員の皆様もそうですが、地域の方からたくさんの支援をいただいております。ありがとうございます。